

# 地域経済産業の動向 (2020年3月)

本資料では、原則として、経済産業局の管轄区域による地域区分を採用しています。下記地域区分によらない場合は備考にその旨を明記しています。

地域名 都道府県名

北海道 北海道

東北 青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

関東 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡

東海 岐阜、愛知、三重

北陸 富山、石川、福井

近畿 福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

中国 鳥取、島根、岡山、広島、山口

四国 徳島、香川、愛媛、高知

九州 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島

沖縄 沖縄

※福井は北陸、近畿の両地域に含まれています。

# 【総括表】

地域	【3月】 生産(鉱工業) (季節調整・前月比)	【3月】 小売業6業態販売額 (前年同月比)	【3月】 住宅着工件数 (前年同月比)	【2019年10-12月期】 設備投資額 (前年同期比)	【3月】 公共工事額 (前年同月比)	【3月】 有効求人倍率 (前月差・ポイント)	【3月】 輸出額 (前年同月比)
全国	↓ -3.7%	↓ -4.8%	↓ -7.6%	↓ -3.5%	↑ 12.9%	↓ -0.06	↓ -11.7%
北海道	↑ 0.7%	↓ -4.9%	↓ -3.7%	↓ -17.7%	↓ -9.9%	↓ -0.05	↓ -14.8%
東北	↓ -6.0%	↓ -0.6%	↓ -14.0%	↓ -32.3%	↑ 4.2%	↓ -0.06	↓ -30.8%
関東	↓ -1.6%	↓ -4.3%	↓ -9.3%	↓ -6.3%	↑ 9.0%	↓ -0.06	↓ -10.1%
東海	↓ -6.8%	↓ ※ -3.0%	↓ -6.1%	↓ -18.1%	↑ 35.0%	↓ -0.06	↓ -14.8%
北陸	↓ -2.4%	↓ -1.4%	↓ -16.2%	↓ -23.0%	↓ -0.5%	↓ -0.10	↓ -25.9%
近畿	↓ -1.6%	↓ -9.5%	↓ -0.4%	↓ -0.4%	↑ 40.2%	↓ -0.06	↓ -5.2%
中国	↓ -0.1%	↓ -4.6%	↑ 3.3%	↓ -10.4%	↑ 12.1%	↓ -0.04	↓ -17.6%
四国	↑ 5.4%	↓ -1.8%	↓ -13.6%	↓ -28.6%	↑ 4.4%	↓ -0.06	↓ -13.7%
九州	↑ 3.2%	↓ ※ -5.0%	↓ -10.8%	↓ ※ -5.9%	↑ 40.9%	↓ -0.06	↓ -18.6%
沖縄			↓ -18.4%		↓ -14.2%	↓ -0.05	↑ 21.6%

※東海の小売業販売額は中部（岐阜、愛知、三重、富山、石川）の数値

※九州の小売業販売額、設備投資額は九州・沖縄の数値

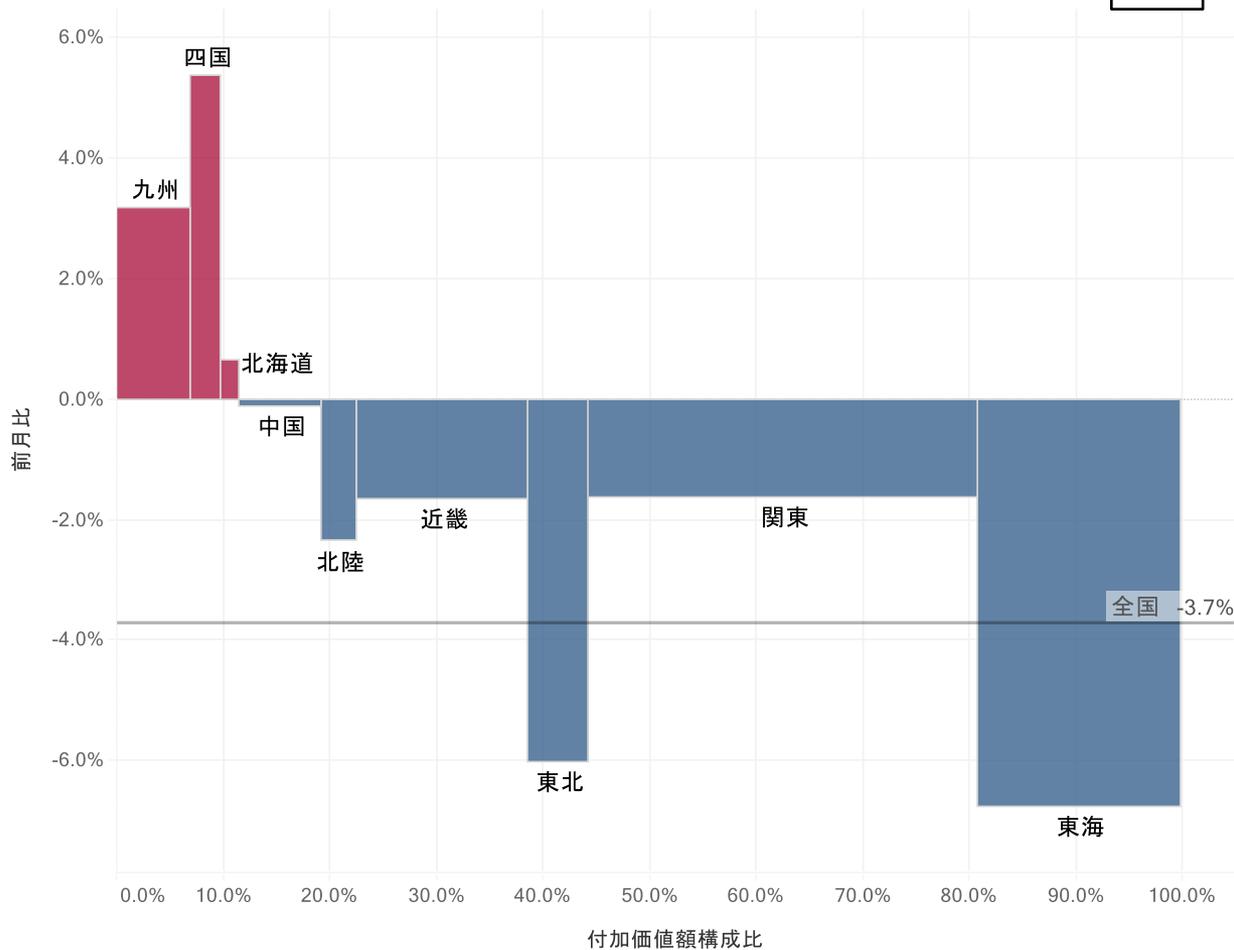
# 生産：鋳工業（季節調整値・前月比）

● 3地域（付加価値額構成比11.5%）で増加し、6地域（同88.3%）で減少。

3月

鋳工業

地域	1月	2月	3月
全国	↑ 1.9% (99.8)	↓ -0.3% (99.5)	↓ -3.7% (95.8)
北海道	↓ -0.2% (90.5)	↑ 1.0% (91.4)	↑ 0.7% (92.0)
東北	↑ 4.6% (101.6)	↑ 3.1% (104.8)	↓ -6.0% (98.5)
関東	↑ 2.2% (96.7)	↓ -4.0% (92.8)	↓ -1.6% (91.3)
東海	↑ 3.0% (103.6)	↑ 1.4% (105.1)	↓ -6.8% (98.0)
北陸	↓ -0.7% (92.8)	↑ 0.8% (93.5)	↓ -2.4% (91.3)
近畿	↑ 3.0% (100.4)	↓ -2.9% (97.5)	↓ -1.6% (95.9)
中国	↑ 1.0% (101.4)	↓ -5.7% (95.6)	↓ -0.1% (95.5)
四国	↓ -3.2% (88.6)	↑ 3.0% (91.3)	↑ 5.4% (96.2)
九州	↑ 0.4% (101.4)	↓ -3.7% (97.6)	↑ 3.2% (100.7)
沖縄	↑ 6.5% (83.9)	↑ 9.7% (92.0)	



資料：経済産業省「鋳工業指数」 平成27年=100

全国及びすべての地域（1～2月）と全国（3月）は確報値、全国以外の地域（3月）は速報値（沖縄は3月の指標が未公表のため非表示）。

左図：直近3ヶ月の状況。前月と比較し、指標が上昇している場合は赤色、低下している場合は青色で表示。

右図：3月の数値をスカイラインチャートで表示。各地域の付加価値額構成比は平成28年経済センサス活動調査の付加価値額より算出。伸び率寄与順に並んでいます。

各地域の付加価値額構成比は以下のとおり。（福井県は、指数算出にあたって、北陸、近畿の両地域に計上されていますが、構成比の算出にあたっては北陸に含めています）

北海道：1.8% 東北：5.6% 関東：36.5% 東海：19.1% 北陸：3.3% 近畿：16.2% 中国：7.6% 四国：2.8% 九州：6.9% 沖縄：0.2%

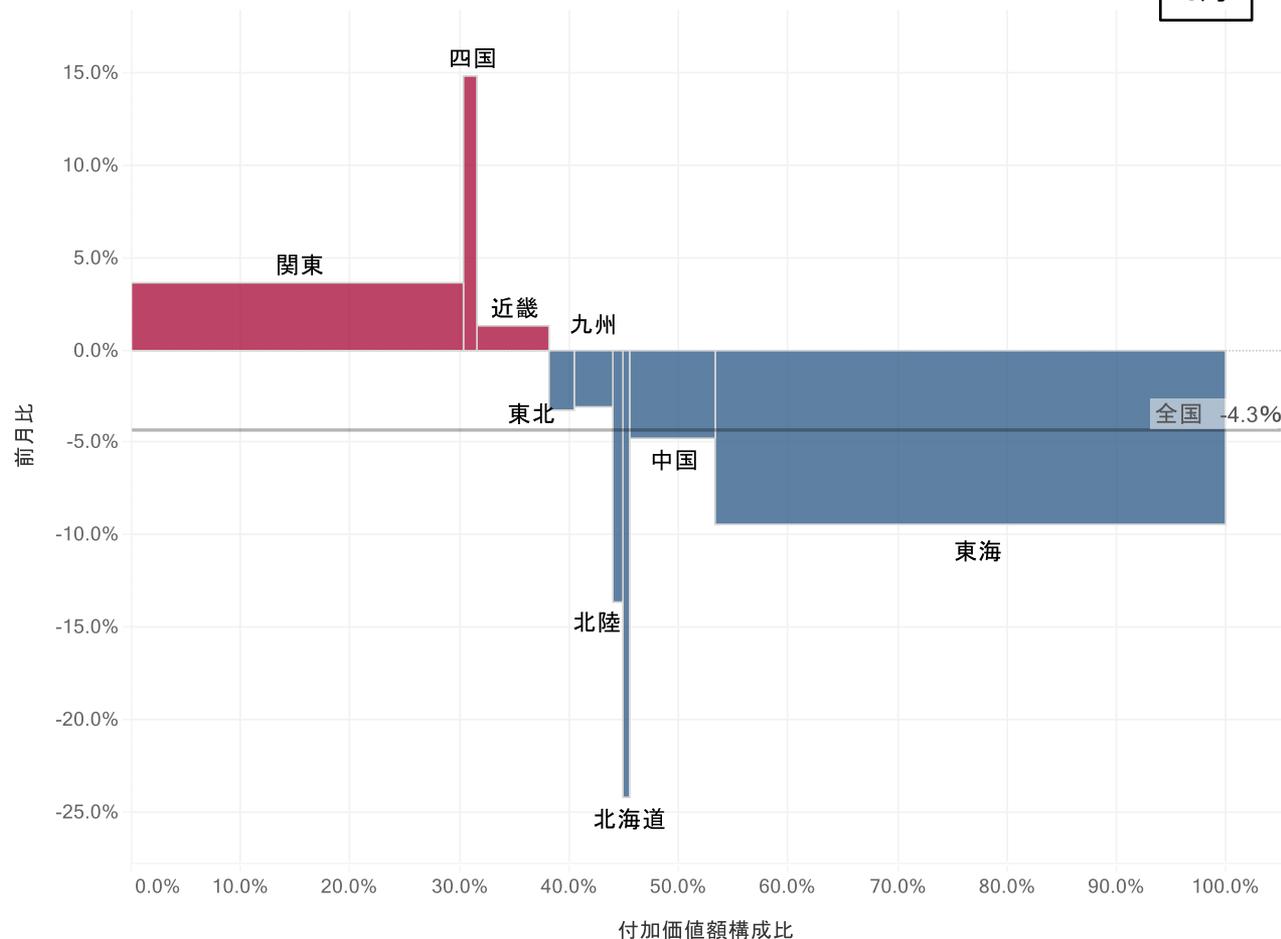
# 生産：輸送機械（季節調整値・前月比）

● 3地域（付加価値額構成比38.2%）で増加し、6地域（同61.8%）で減少。

輸送機械

3月

地域	1月	2月	3月
全国	↑ 6.3% (105.0)	↓ -5.0% (99.8)	↓ -4.3% (95.5)
北海道	↓ -14.3% (82.0)	↑ 34.5% (110.3)	↓ -24.2% (83.6)
東北	↑ 1.0% (92.1)	↑ 3.9% (95.7)	↓ -3.2% (92.6)
関東	↑ 6.3% (91.2)	↓ -8.7% (83.3)	↑ 3.6% (86.3)
東海	↑ 3.5% (107.2)	↑ 4.2% (111.7)	↓ -9.4% (101.2)
北陸	↑ 5.9% (92.0)	↑ 3.9% (95.6)	↓ -13.6% (82.6)
近畿	↑ 13.6% (133.5)	↓ -7.7% (123.2)	↑ 1.3% (124.8)
中国	↑ 13.6% (105.9)	↓ -13.3% (91.8)	↓ -4.8% (87.4)
四国	↓ -2.1% (93.7)	↓ -11.4% (83.0)	↑ 14.8% (95.3)
九州	↑ 4.8% (114.5)	↓ -11.9% (100.9)	↓ -3.1% (97.8)



資料：経済産業省「鉱工業指数」 平成27年 = 100

全国及びすべての地域（1～2月）と全国（3月）は確報値、全国以外の地域（3月）は速報値（沖縄は「輸送機械」の指数を算出していないため非表示）。

左図：直近3ヶ月の状況。前月と比較し、指標が上昇している場合は赤色、低下している場合は青色で表示。

右図：3月の数値をスカイラインチャートで表示。各地域の付加価値額構成比は平成28年経済センサス活動調査の付加価値額より算出。伸び率寄与順に並んでいます。

各地域の付加価値額構成比は以下のとおり。（福井県は、指数算出にあたって、北陸、近畿の両地域に計上されていますが、構成比の算出にあたっては北陸に含めています）

北海道：0.7% 東北：2.2% 関東：30.4% 東海：46.6% 北陸：0.9% 近畿：6.6% 中国：7.8% 四国：1.2% 九州：3.6%

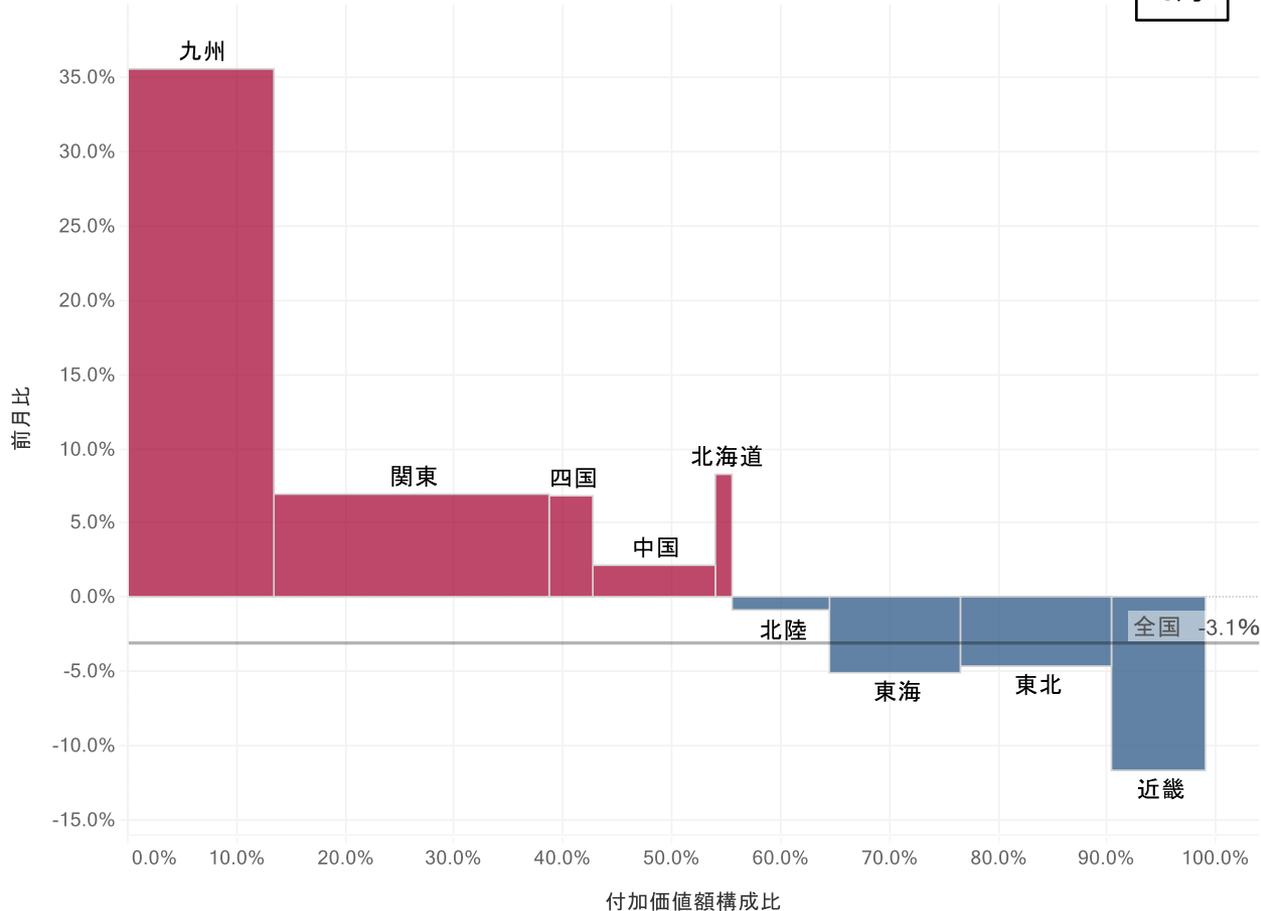
# 生産：電子部品・デバイス（季節調整値・前月比）

● 5地域（付加価値額構成比55.6%）で増加し、4地域（同43.4%）で減少。

電子部品・デバイス

地域	1月	2月	3月
全国	↑ 1.2% (95.0)	↑ 8.3% (102.9)	↓ -3.1% (99.7)
北海道	↓ -1.8% (74.3)	↓ -8.6% (67.9)	↑ 8.2% (73.5)
東北	↑ 2.9% (103.3)	↑ 1.2% (104.5)	↓ -4.6% (99.7)
関東	↓ -3.6% (91.3)	↓ -0.7% (90.7)	↑ 6.9% (97.0)
東海	↑ 4.2% (93.3)	↑ 9.0% (101.7)	↓ -5.0% (96.6)
北陸	↑ 3.6% (80.8)	↑ 11.9% (90.4)	↓ -0.9% (89.6)
近畿	↓ -5.4% (86.9)	↑ 13.1% (98.3)	↓ -11.6% (86.9)
中国	↑ 0.9% (117.4)	↑ 1.5% (119.2)	↑ 2.2% (121.8)
四国	↓ -5.1% (81.1)	↑ 1.1% (82.0)	↑ 6.8% (87.6)
九州	↓ -7.4% (112.2)	↑ 4.7% (117.5)	↑ 35.5% (159.2)

3月



資料：経済産業省「鉱工業指数」 平成27年=100

全国及びすべての地域（1～2月）と全国（3月）は確報値、全国以外の地域（3月）は速報値（北海道、四国は「電気機械工業」。沖縄は「電子部品・デバイス」の指数を算出していないため非表示）。

左図：直近3ヶ月の状況。前月と比較し、指標が上昇している場合は赤色、低下している場合は青色で表示。

右図：3月の数値をスカイラインチャートで表示。各地域の付加価値額構成比は平成28年経済センサス活動調査の付加価値額より算出。伸び率寄与順に並んでいます。

各地域の付加価値額構成比は以下のとおり。（福井県は、指数算出にあたって、北陸、近畿の両地域に計上されていますが、構成比の算出にあたっては北陸に含めています）

北海道：1.6% 東北：13.9% 関東：25.3% 東海：12.0% 北陸：8.9% 近畿：8.6% 中国：11.2% 四国：4.1% 九州：13.4%

※一部の都道府県の付加価値額に秘匿処理がされていることから、全体が100%にならない。

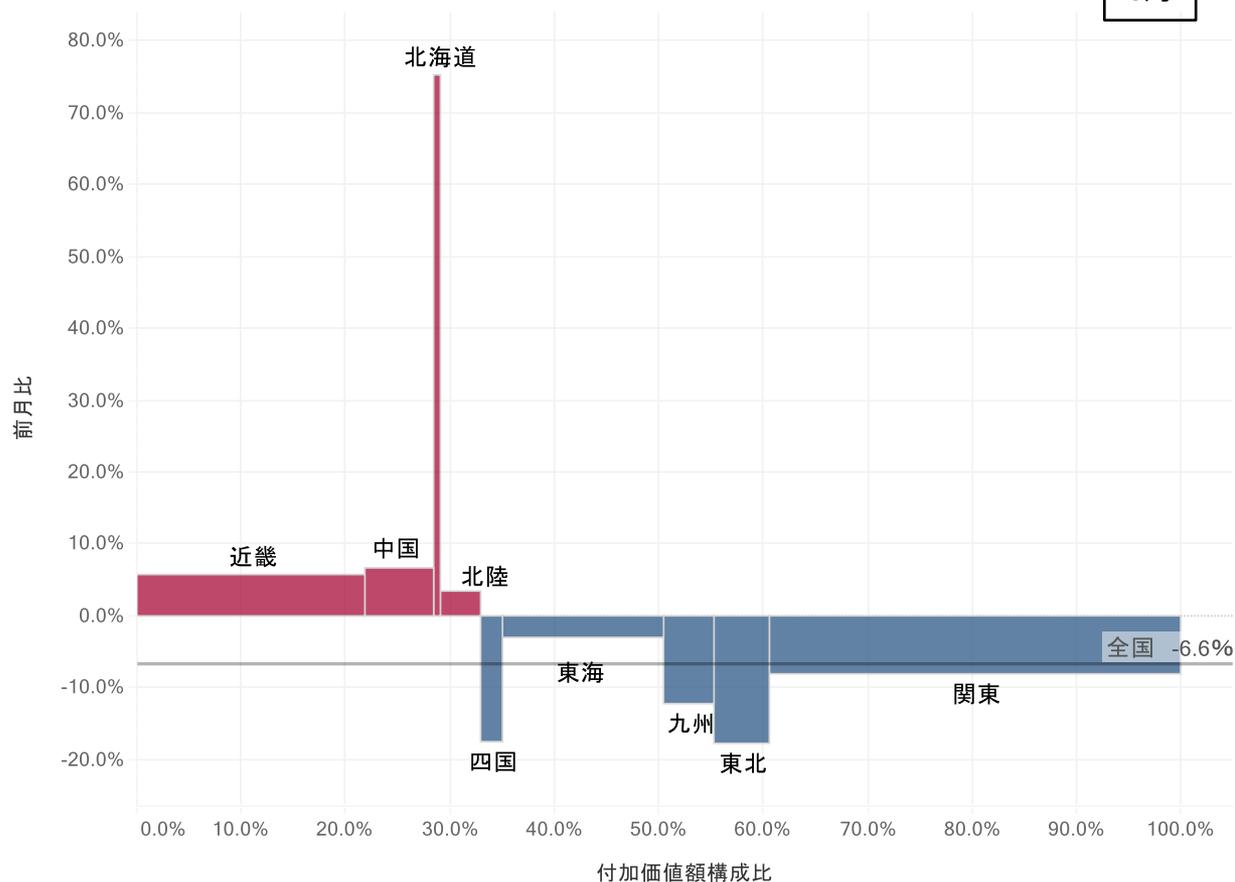
# 生産：一般機械（季節調整値・前月比）

● 4地域（付加価値額構成比33.0%）で増加し、5地域（同67.0%）で減少。

一般機械

3月

地域	1月	2月	3月
全国	↑ 1.3% (104.1)	↓ -2.5% (101.5)	↓ -6.6% (94.7)
北海道	↓ -0.8% (108.7)	↓ -18.1% (89.0)	↑ 75.2% (155.9)
東北	↑ 19.9% (132.0)	↑ 7.9% (142.5)	↓ -17.7% (117.3)
関東	↑ 2.5% (103.8)	↓ -10.8% (92.6)	↓ -8.2% (85.0)
東海	↓ -1.3% (95.1)	↓ -2.8% (92.4)	↓ -3.0% (89.6)
北陸	↓ -7.7% (93.9)	↑ 1.0% (94.9)	↑ 3.5% (98.2)
近畿	↑ 0.5% (103.6)	↓ -3.0% (100.5)	↑ 5.8% (106.3)
中国	↓ -22.5% (97.2)	↓ -4.3% (93.0)	↑ 6.6% (99.1)
四国	↑ 9.2% (96.9)	↓ -3.1% (93.9)	↓ -17.5% (77.5)
九州	↓ -10.6% (96.1)	↑ 9.1% (104.8)	↓ -12.2% (92.0)



資料：経済産業省「鉱工業指数」 平成27年=100 全国及びすべての地域（1～2月）と全国（3月）は確報値、全国以外の地域（3月）は速報値。

北海道は「一般機械」、中国、九州は「汎用・生産用・業務用機械」、四国は「汎用・生産用機械」の指数。その他の地域は「生産用機械」「汎用機械」「業務用機械」の指数を加重平均して算出。

（沖縄は「一般機械」の指数を算出していないため非表示）

左図：直近3ヶ月の状況。前月と比較し、指標が上昇している場合は赤色、低下している場合は青色で表示。

右図：3月の数値をスカイラインチャートで表示。各地域の付加価値額構成比は平成28年経済センサス活動調査の付加価値額（汎用・生産用・業務用機械）より算出。伸び率寄与順に並んでいます。

各地域の付加価値額構成比は以下のとおり。（福井県は、指数算出にあたって、北陸、近畿の両地域に計上されていますが、構成比の算出にあたっては北陸に含めています）

北海道：0.5% 東北：5.3% 関東：39.4% 東海：15.5% 北陸：3.9% 近畿：21.9% 中国：6.6% 四国：2.0% 九州：4.8%

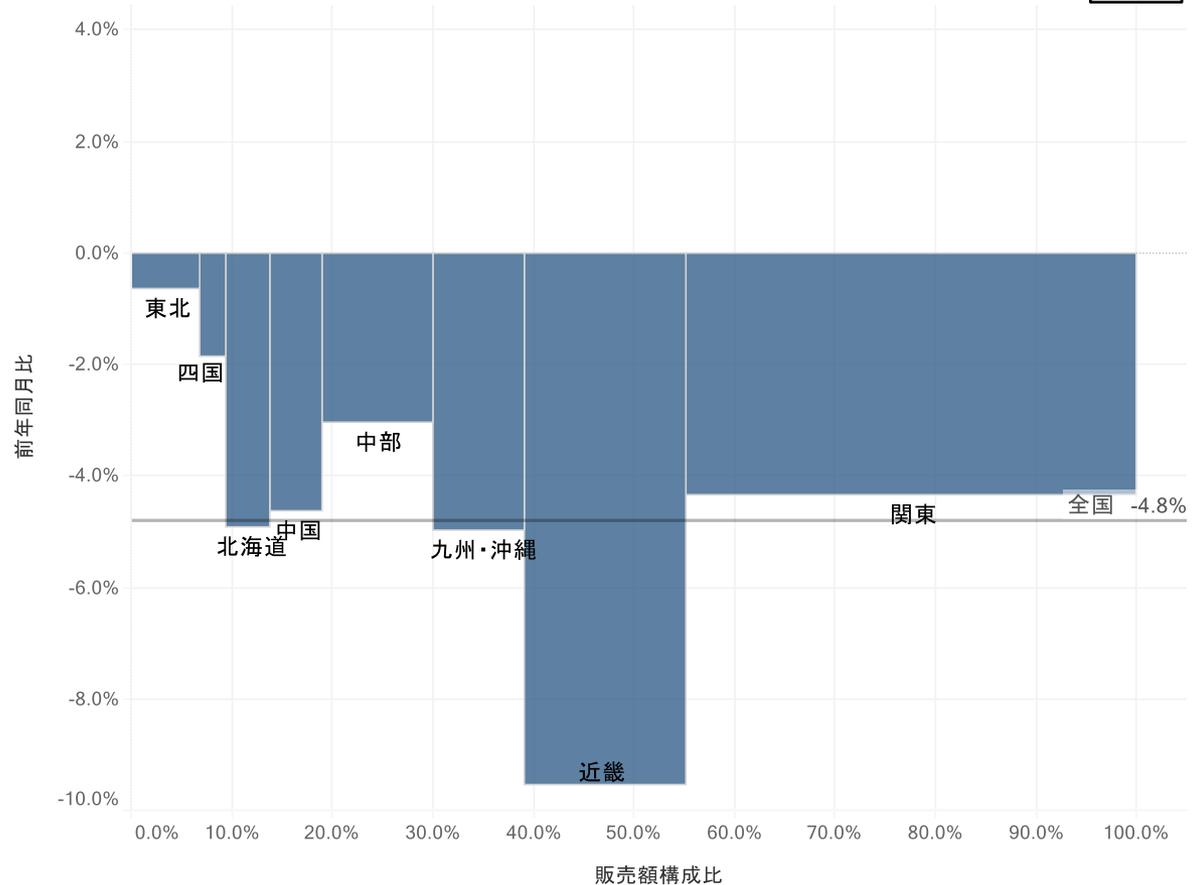
# 小売業販売額：小売業6業態（前年同月比）

● すべての地域で減少。

小売業6業態

3月

地域	1月	2月	3月
全国	↑ 0.5%	↑ 5.0%	↓ -4.8%
北海道	↑ 0.5%	↑ 1.5%	↓ -4.9%
東北	↑ 0.3%	↑ 6.6%	↓ -0.6%
関東	↑ 0.6%	↑ 6.6%	↓ -4.3%
中部	↑ 0.6%	↑ 6.4%	↓ -3.0%
（北陸	↓ -0.2%	↑ 6.5%	↓ -1.4%
近畿	↑ 0.4%	↑ 0.6%	↓ -9.5%
中国	↑ 0.3%	↑ 5.9%	↓ -4.6%
四国	↑ 0.2%	↑ 6.9%	↓ -1.8%
九州・沖縄	↑ 0.2%	↑ 4.0%	↓ -5.0%



資料：経済産業省「商業動態統計調査」

小売業6業態とは、百貨店、スーパー、コンビニエンスストア、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターをいう。

左図：直近3ヶ月の状況。前年同月と比較し、指標が上昇している場合は赤色、低下している場合は青色で表示。（中部には、岐阜、愛知、三重、富山、石川が含まれる。北陸の富山、石川は中部の内数、福井は近畿の内数。）

右図：3月の数値をスカイラインチャートで表示。伸び率寄与順に並んでいます。

各地域の販売額構成比は以下のとおり。

北海道：4.4% 東北：6.7% 関東：44.8% 中部：10.9% 近畿：16.2% 中国：5.2% 四国：2.7% 九州・沖縄：9.1%

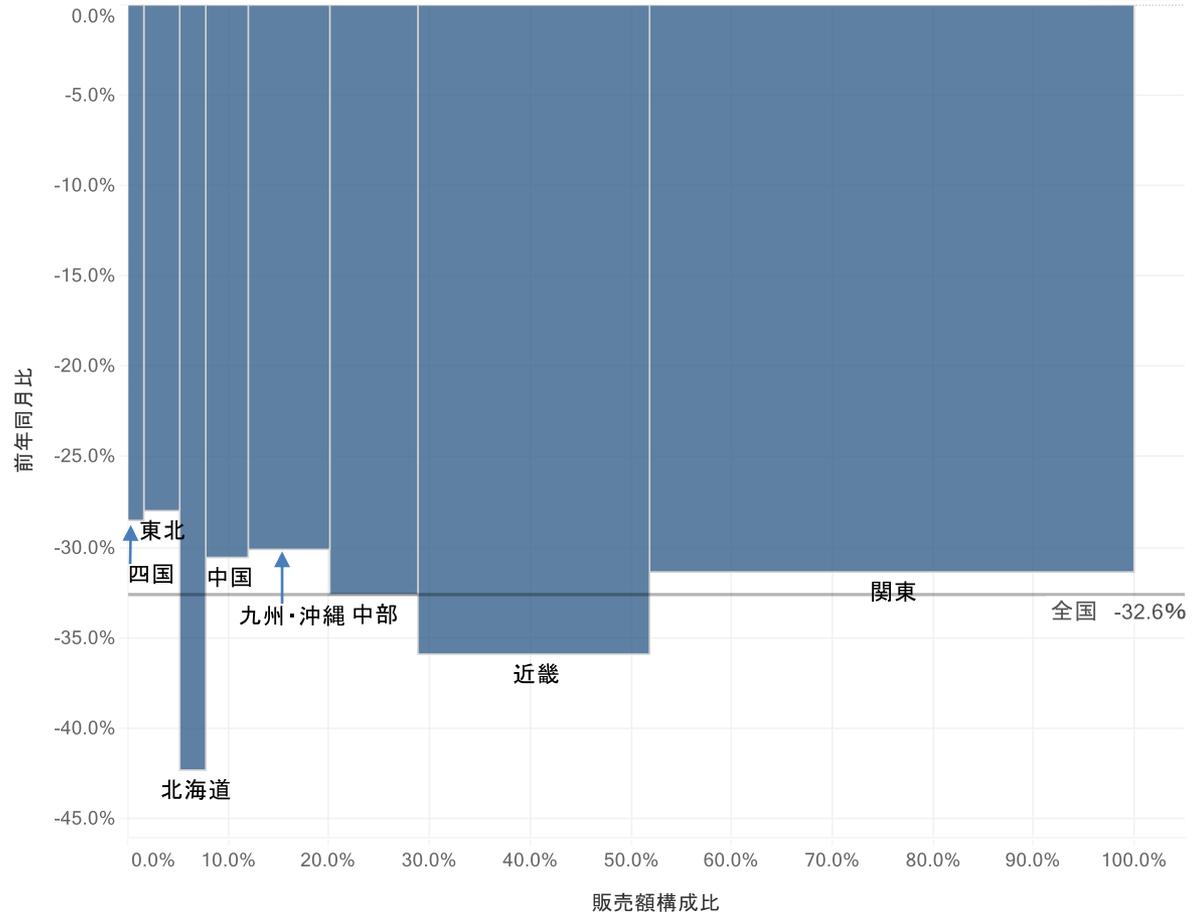
# 小売業販売額：百貨店（前年同月比）

● すべての地域で減少。

百貨店

3月

地域	1月	2月	3月
全国	↓ -3.3%	↓ -11.8%	↓ -32.6%
北海道	↓ -2.4%	↓ -22.0%	↓ -42.4%
東北	↓ -5.8%	↓ -6.6%	↓ -28.0%
関東	↓ -3.2%	↓ -9.7%	↓ -31.4%
中部	↓ -2.9%	↓ -9.4%	↓ -32.6%
（北陸	↓ -8.2%	↓ -8.8%	↓ -23.6%
近畿	↓ -2.0%	↓ -15.8%	↓ -35.9%
中国	↓ -0.4%	↓ -8.5%	↓ -30.6%
四国	↓ -3.1%	↓ -3.2%	↓ -28.6%
九州・沖縄	↓ -8.4%	↓ -15.6%	↓ -30.1%



資料：経済産業省「商業動態統計調査」

左図：直近3ヶ月の状況。前年同月と比較し、指標が上昇している場合は赤色、低下している場合は青色で表示。（中部には、岐阜、愛知、三重、富山、石川が含まれる。北陸は、富山、石川は中部の内数。福井は近畿の内数。）

右図：3月の数値をスカイラインチャートで表示。伸び率寄与順に並んでいます。

各地域の販売額構成比は以下のとおり。

北海道：2.7% 東北：3.5% 関東：48.1% 中部：8.6% 近畿：23.1% 中国：4.2% 四国：1.7% 九州・沖縄：8.1%

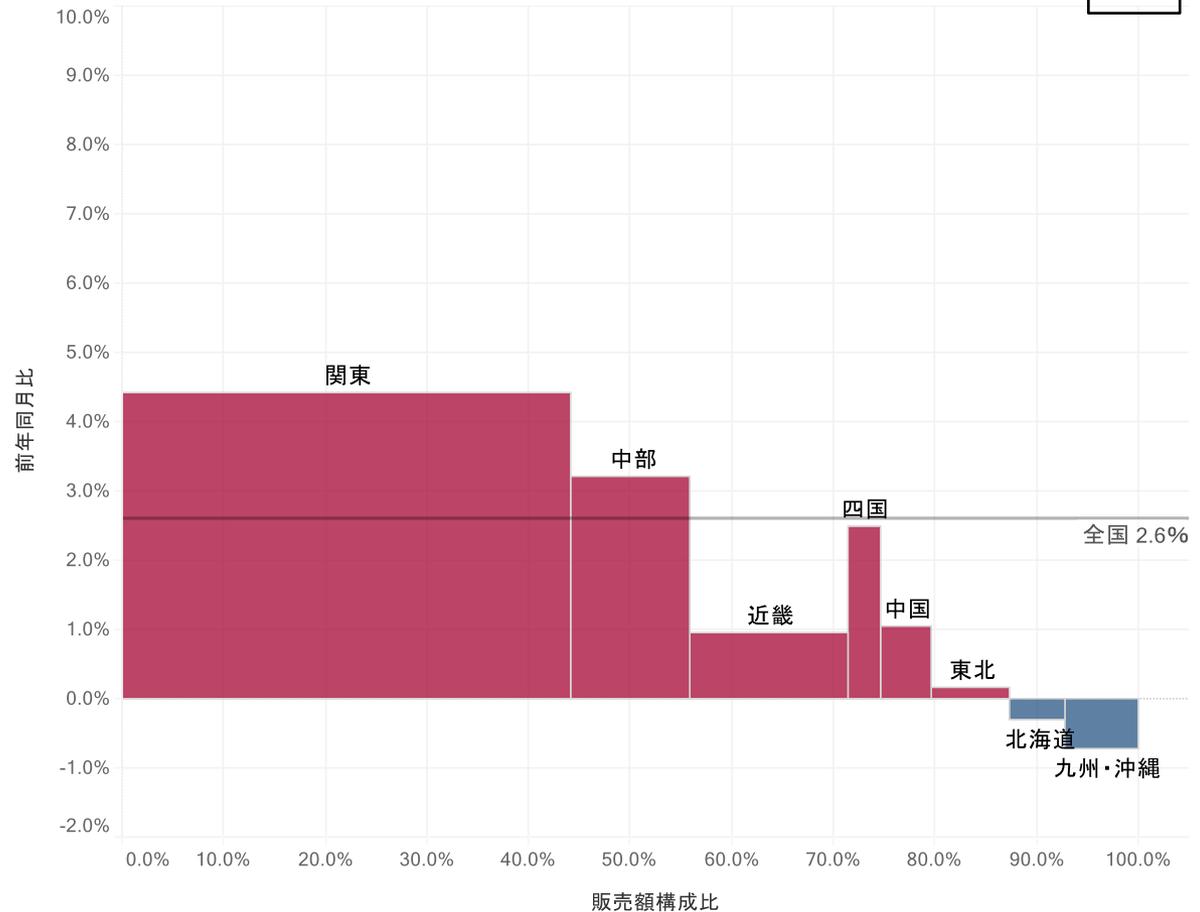
# 小売業販売額：スーパー（前年同月比）

● 6地域（販売額構成比87.3%）で増加し、2地域（同12.7%）で減少。

スーパー

3月

地域	1月	2月	3月
全国	↓ -0.8%	↑ 6.0%	↑ 2.6%
北海道	↓ -0.1%	↑ 3.1%	↓ -0.3%
東北	↓ -1.5%	↑ 4.7%	↑ 0.2%
関東	↓ -1.0%	↑ 7.8%	↑ 4.4%
中部	↑ 0.3%	↑ 7.2%	↑ 3.2%
（北陸	↓ -1.8%	↑ 4.0%	↓ -3.2%
近畿	↓ -2.2%	↑ 3.2%	↑ 0.9%
中国	↓ -0.9%	↑ 5.0%	↑ 1.1%
四国	↑ 0.1%	↑ 6.1%	↑ 2.5%
九州・沖縄	↑ 1.1%	↑ 5.0%	↓ -0.7%



資料：経済産業省「商業動態統計調査」

左図：直近3ヶ月の状況。前年同月と比較し、指標が上昇している場合は赤色、低下している場合は青色で表示。（中部には、岐阜、愛知、三重、富山、石川が含まれる。北陸の富山、石川は中部の内数、福井は近畿の内数。）

右図：3月の数値をスカイラインチャートで表示。伸び率寄与順に並んでいます。

各地域の販売額構成比は以下のとおり。

北海道：5.5% 東北：7.7% 関東：44.1% 中部：11.8% 近畿：15.5% 中国：5.0% 四国：3.1% 九州・沖縄：7.2%

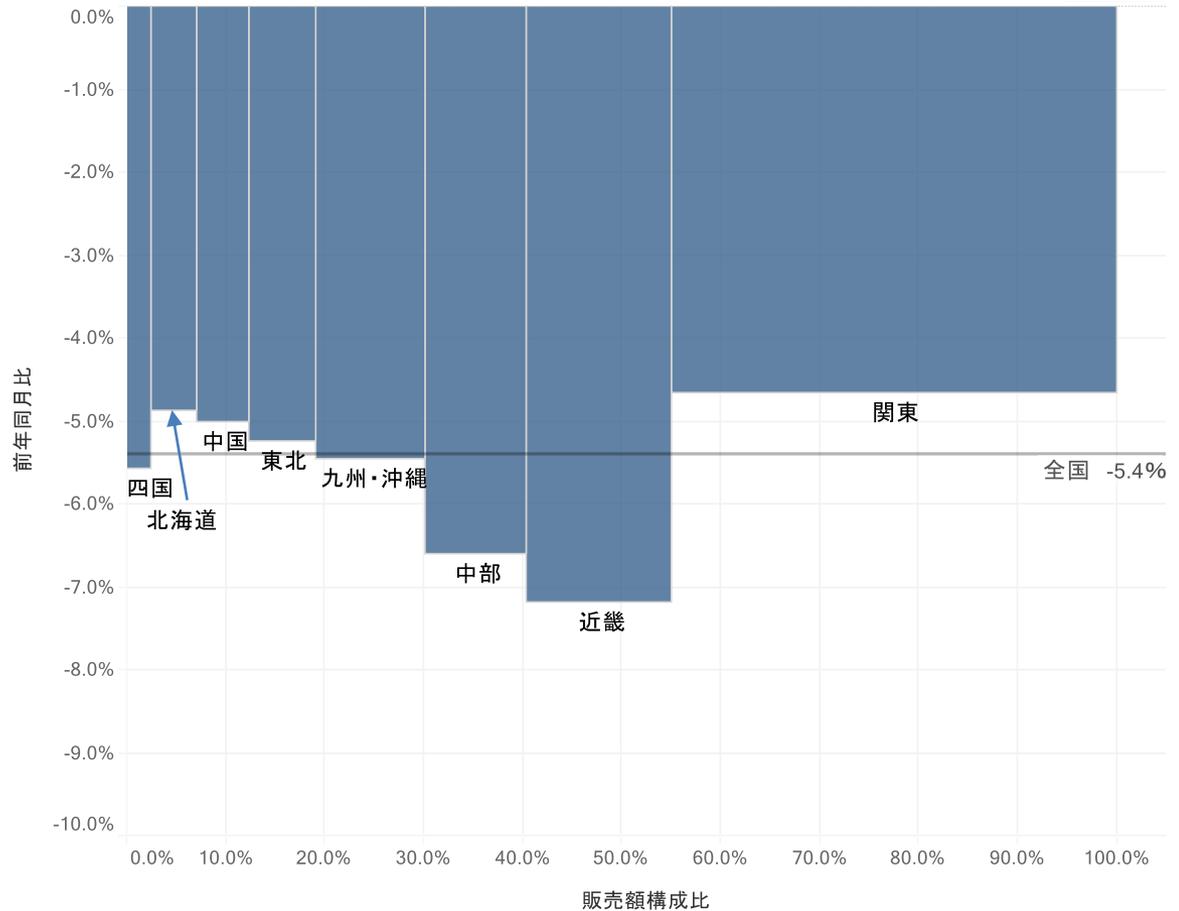
# 小売業販売額：コンビニエンスストア（前年同月比）

● 8地域すべてで減少。

コンビニエンスストア

3月

地域	1月	2月	3月
全国	↑ 1.6%	↑ 3.4%	↓ -5.4%
北海道	↑ 1.4%	↑ 3.4%	↓ -4.9%
東北	↑ 0.2%	↑ 3.2%	↓ -5.2%
関東	↑ 2.0%	↑ 4.4%	↓ -4.7%
中部	↓ -0.1%	↑ 1.4%	↓ -6.6%
北陸	↓ -0.7%	↑ 1.7%	↓ -6.6%
近畿	↑ 2.1%	↑ 1.7%	↓ -7.2%
中国	↑ 1.1%	↑ 3.3%	↓ -5.0%
四国	↑ 0.4%	↑ 3.7%	↓ -5.6%
九州・沖縄	↑ 2.3%	↑ 3.5%	↓ -5.5%



資料：経済産業省「商業動態統計調査」

左図：直近3ヶ月の状況。前年同月と比較し、指標が上昇している場合は赤色、低下している場合は青色で表示。（中部には、岐阜、愛知、三重、富山、石川が含まれる。北陸の富山、石川は中部の内数、福井は近畿の内数。）

右図：3月の数値をスカイラインチャートで表示。伸び率寄与順に並んでいます。

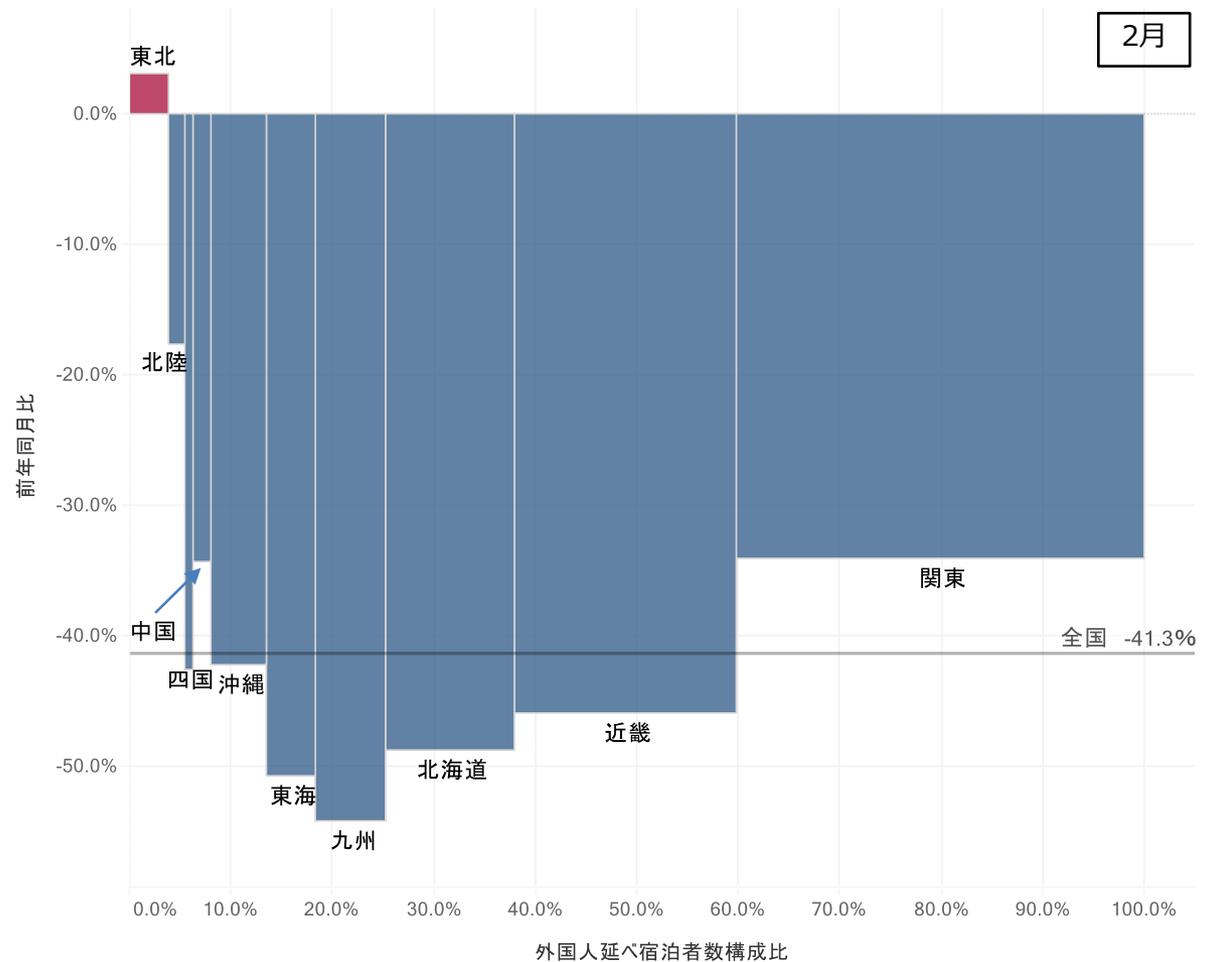
各地域の販売額構成比は以下のとおり。

北海道：4.6% 東北：6.8% 関東：44.9% 中部：10.2% 近畿：14.8% 中国：5.4% 四国：2.4% 九州・沖縄：10.9%

# 外国人延べ宿泊者数（前年同月比）

● 2月は、1地域（延べ宿泊者数構成比3.8%）で増加し、9地域（同96.2%）で減少。

地域	12月	1月	2月
全国	↓ -3.3%	↑ 16.9%	↓ -41.3%
北海道	↓ -4.9%	↓ -6.5%	↓ -48.8%
東北	↑ 48.1%	↑ 54.8%	↑ 3.1%
関東	↑ 1.0%	↑ 24.0%	↓ -34.1%
東海	↑ 5.1%	↑ 48.2%	↓ -50.8%
北陸	↓ 0.0%	↑ 54.4%	↓ -17.7%
近畿	↓ -2.7%	↑ 24.7%	↓ -45.9%
中国	↓ -13.7%	↑ 8.2%	↓ -34.3%
四国	↓ -1.6%	↑ 9.2%	↓ -42.6%
九州	↓ -22.2%	↓ -9.2%	↓ -54.2%
沖縄	↓ -20.9%	↓ -3.0%	↓ -42.2%



資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」

左図：直近3ヶ月の状況。前年同月と比較し、指標が上昇している場合は赤色、低下している場合は青色で表示。

右図：2月の数値をスカイラインチャートで表示。伸び率寄与順に並んでいます。

表紙に記載した経済産業局の管轄区域と異なる地域区分を採用し、福井県を北陸地域のみにも計上しています。

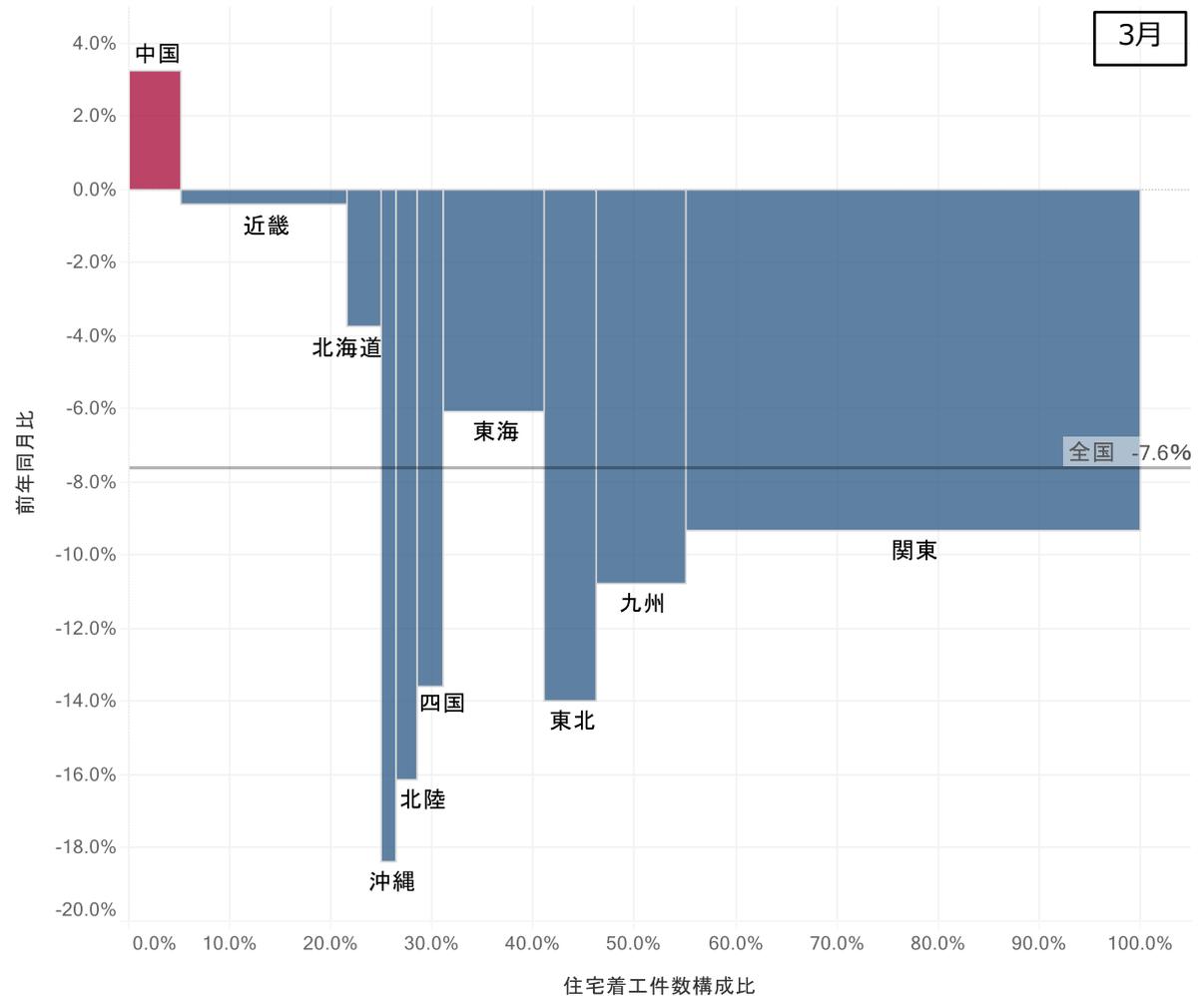
各地域の外国人延べ宿泊者数構成比は以下のとおり。

北海道：12.6% 東北：3.8% 関東：40.2% 東海：4.8% 北陸：1.6% 近畿：21.9% 中国：1.7% 四国：0.9% 九州：7.0% 沖縄：5.5%

# 住宅着工件数（前年同月比）

● 1地域（住宅着工件数構成比5.1%）で増加し、9地域（同94.9%）で減少。

地域	1月	2月	3月
全国	↓ -10.1%	↓ -12.3%	↓ -7.6%
北海道	↓ -15.3%	↑ 11.4%	↓ -3.7%
東北	↓ -19.1%	↓ -13.8%	↓ -14.0%
関東	↓ -7.2%	↓ -13.0%	↓ -9.3%
東海	↓ -3.4%	↓ -16.5%	↓ -6.1%
北陸	↓ -19.0%	↓ -19.8%	↓ -16.2%
近畿	↓ -13.8%	↓ -3.7%	↓ -0.4%
中国	↓ -24.1%	↓ -31.8%	↑ 3.3%
四国	↓ -3.2%	↓ -14.5%	↓ -13.6%
九州	↓ -3.9%	↓ -9.4%	↓ -10.8%
沖縄	↓ -37.4%	↓ -19.1%	↓ -18.4%



資料：国土交通省「建築着工統計調査」

左図：直近3ヶ月の状況。前年同月と比較し、指標が上昇している場合は赤色、低下している場合は青色で表示。

右図：3月の数値をスカイラインチャートで表示。伸び率寄与順に並んでいます。

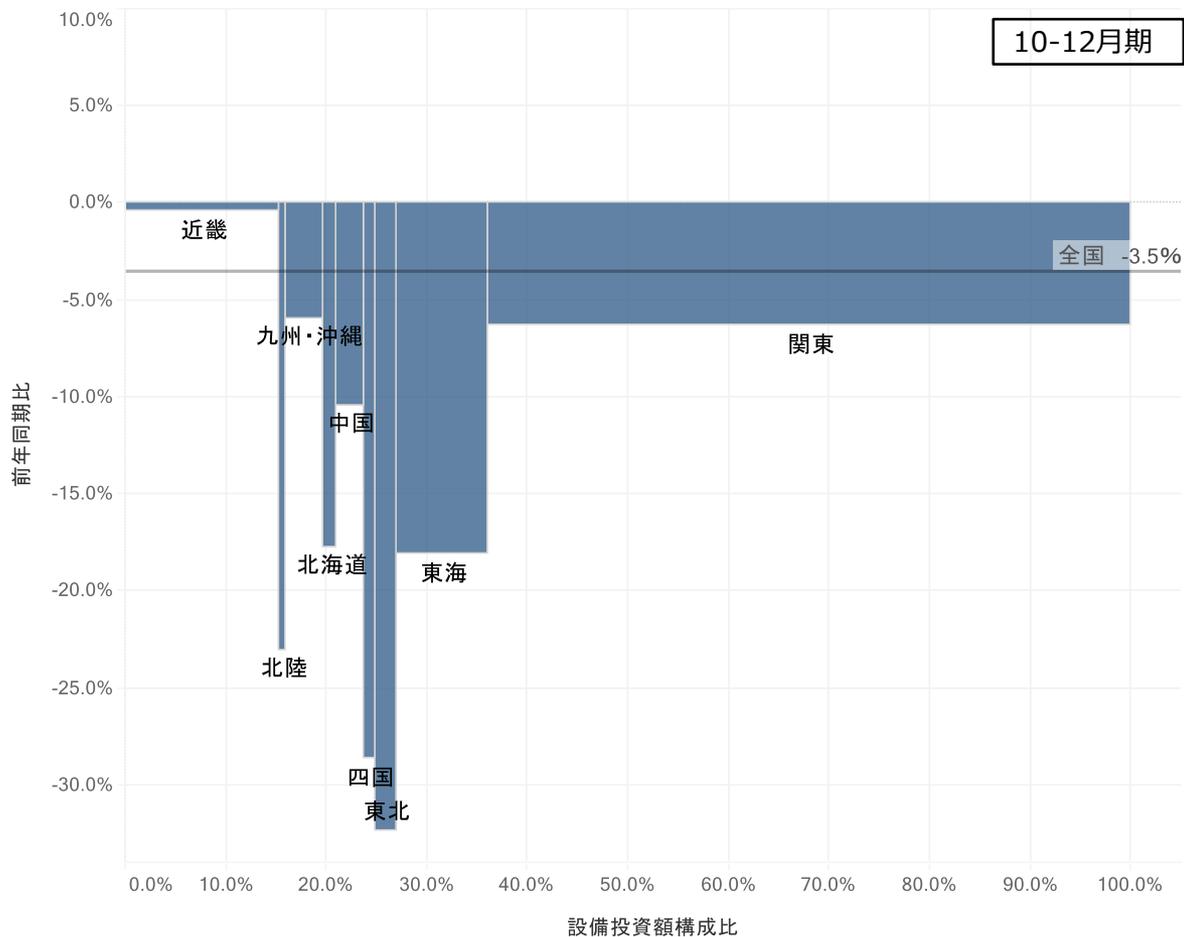
各地域の住宅着工件数構成比は以下のとおり。（福井県の住宅着工件数は北陸、近畿の両地域に計上されていますが、構成比の算出にあたっては北陸に含めています）

北海道：3.3% 東北：5.2% 関東：45.0% 東海：10.0% 北陸：2.0% 近畿：16.5% 中国：5.1% 四国：2.5% 九州：8.8% 沖縄：1.5%

# 設備投資額（前年同期比）

● 10-12月期は、9地域すべてで減少。

地域	4-6月期	7-9月期	10-12月期
全国	↑ 1.9%	↑ 7.1%	↓ -3.5%
北海道	↑ 5.2%	↑ 13.6%	↓ -17.7%
東北	↓ -22.1%	↑ 21.1%	↓ -32.3%
関東	↑ 0.7%	↑ 18.9%	↓ -6.3%
東海	↓ -17.4%	↓ -1.9%	↓ -18.1%
北陸	↑ 16.5%	↓ -9.8%	↓ -23.0%
近畿	↓ -3.1%	↑ 7.4%	↓ -0.4%
中国	↑ 6.8%	↓ -2.5%	↓ -10.4%
四国	↓ -28.6%	↓ -17.9%	↓ -28.6%
九州・沖縄	↓ -11.4%	↓ -8.5%	↓ -5.9%



資料：財務省「法人企業統計調査」（全国は資本金1億円以上、各地域は資本金10億円以上の法人を対象。）

左図：直近3期の状況。前年同期と比較し、指標が上昇している場合は赤色、低下している場合は青色で表示。

右図：10-12月期の数値をスカイラインチャートで表示。伸び率寄与順に並んでいます。

以下の各地域は、表紙に記載した経済産業局の管轄区域と異なる地域区分を採用。

関東（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野）、東海（岐阜、静岡、愛知、三重）、北陸（富山、石川、福井）、近畿（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）

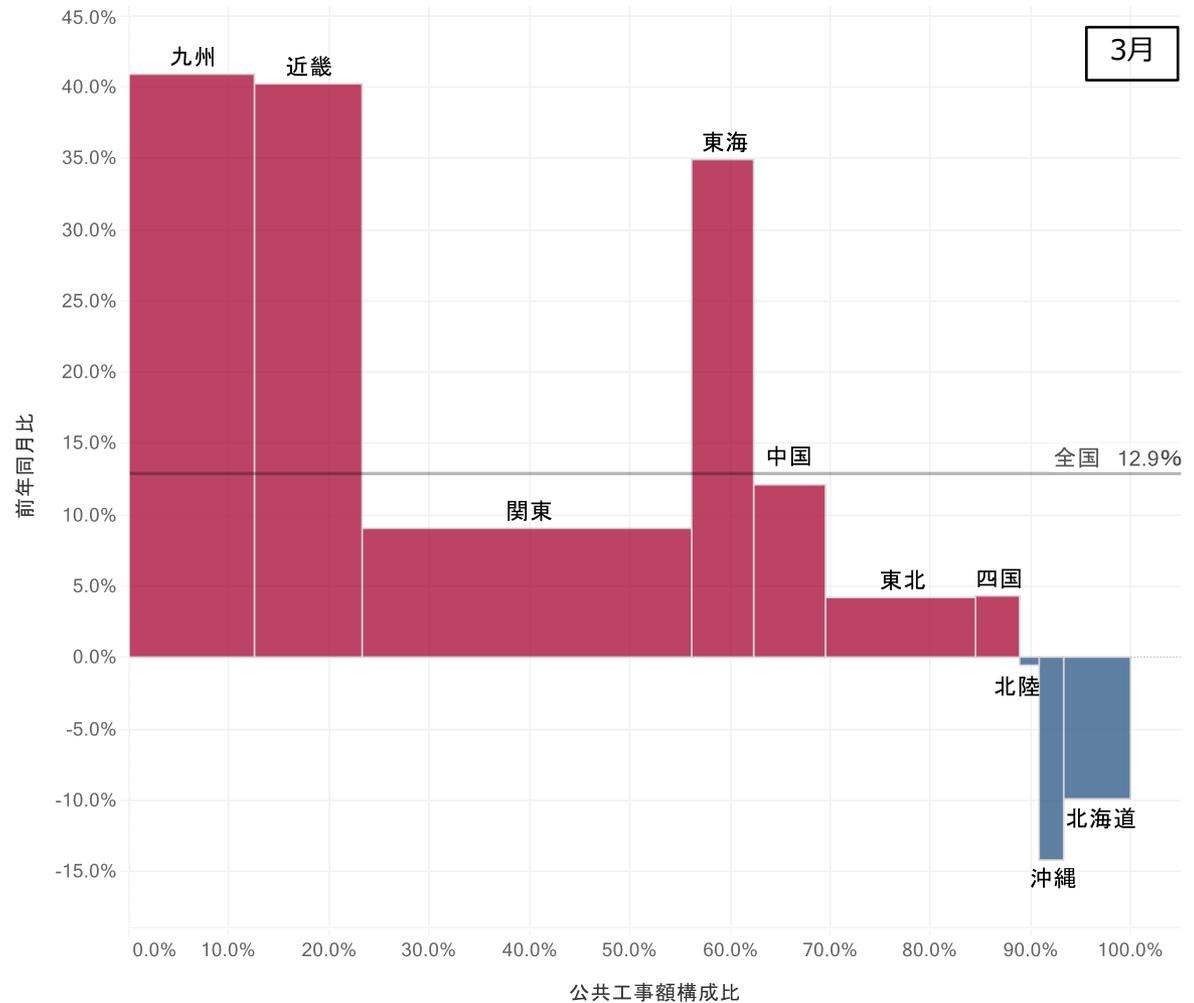
各地域の設備投資額構成比は以下のとおり。

北海道：1.4% 東北：2.1% 関東：64.0% 東海：9.1% 北陸：0.7% 近畿：15.2% 中国：2.6% 四国：1.2% 九州・沖縄：3.7%

# 公共工事額（前年同月比）

● 7地域（公共工事額構成比88.9%）で増加し、3地域（同11.1%）で減少。

地域	1月	2月	3月
全国	↑ 9.6%	↓ -5.4%	↑ 12.9%
北海道	↑ 14.5%	↑ 27.8%	↓ -9.9%
東北	↑ 0.1%	↓ -15.7%	↑ 4.2%
関東	↑ 4.7%	↑ 1.8%	↑ 9.0%
東海	↑ 11.9%	↓ -5.8%	↑ 35.0%
北陸	↓ -5.4%	↑ 19.6%	↓ -0.5%
近畿	↑ 33.0%	↓ -2.1%	↑ 40.2%
中国	↓ -10.3%	↑ 2.3%	↑ 12.1%
四国	↑ 31.0%	↓ -26.5%	↑ 4.4%
九州	↑ 32.9%	↑ 9.8%	↑ 40.9%
沖縄	↓ -2.9%	↓ -49.3%	↓ -14.2%



資料：北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」  
左図：直近3ヶ月の状況。前年同月と比較し、指標が上昇している場合は赤色、低下している場合は青色で表示。

右図：3月の数値をスカイラインチャートで表示。伸び率寄与と順に並んでいます。

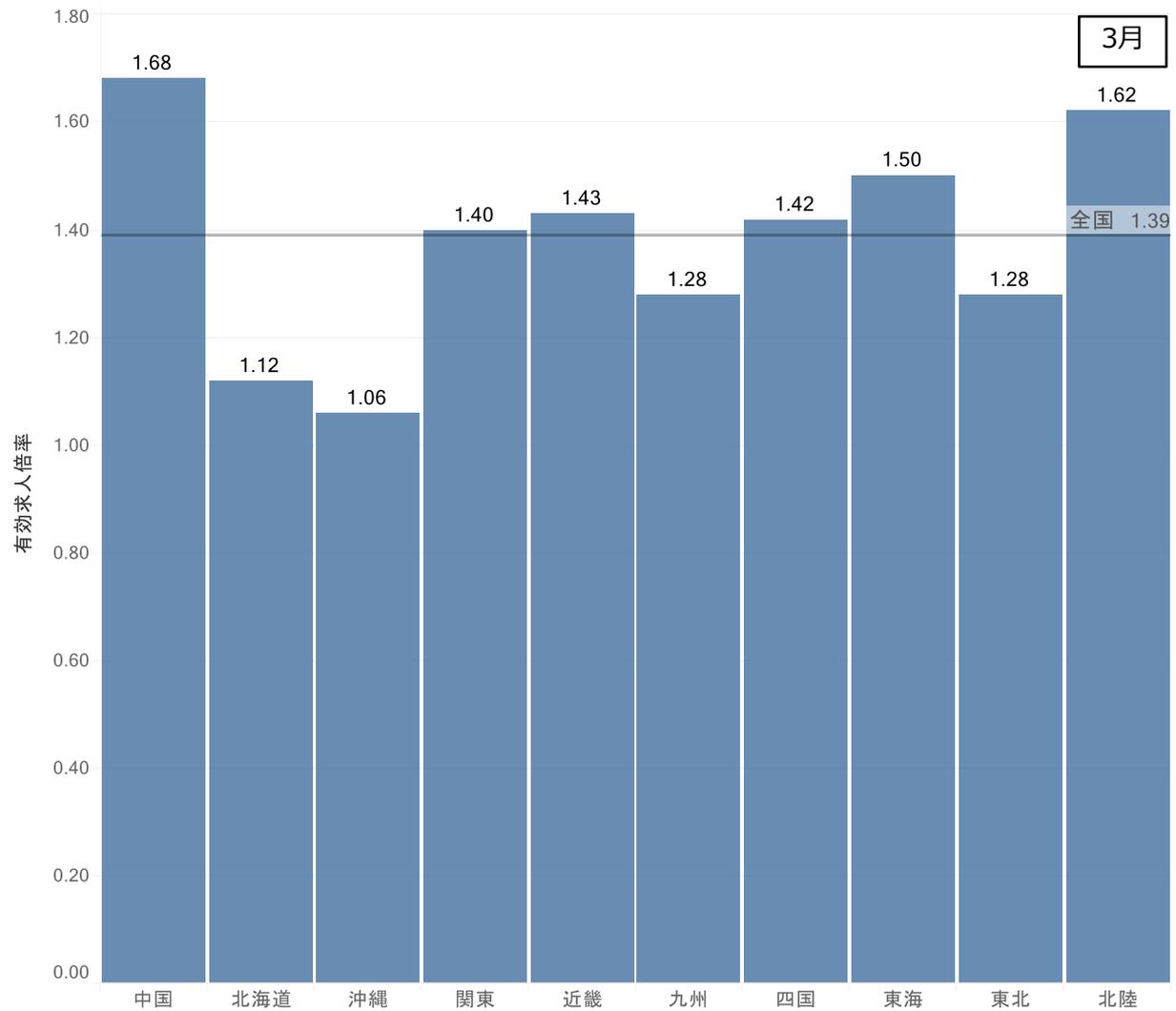
各地域の公共工事額構成比は以下のとおり。（福井県の公共工事額は北陸、近畿の両地域に計上されていますが、構成比の算出にあたっては北陸に含めています）

北海道：6.7% 東北：15.0% 関東：32.9% 東海：6.3% 北陸：2.0% 近畿：10.6% 中国：7.0% 四国：4.4% 九州：12.6% 沖縄：2.4%

# 有効求人倍率（前月差）

● 10地域すべてで低下。

地域	1月	2月	3月
全国	↓ -0.08ポイント	↓ -0.04ポイント	↓ -0.06ポイント
北海道	↓ -0.10ポイント	↓ -0.01ポイント	↓ -0.05ポイント
東北	↓ -0.07ポイント	↓ -0.02ポイント	↓ -0.06ポイント
関東	↓ -0.08ポイント	↓ -0.03ポイント	↓ -0.06ポイント
東海	↓ -0.13ポイント	↓ -0.11ポイント	↓ -0.06ポイント
北陸	↓ -0.17ポイント	↓ -0.02ポイント	↓ -0.10ポイント
近畿	↓ -0.09ポイント	↓ -0.02ポイント	↓ -0.06ポイント
中国	↓ -0.12ポイント	↓ -0.02ポイント	↓ -0.04ポイント
四国	↓ -0.05ポイント	↓ -0.03ポイント	↓ -0.06ポイント
九州	↓ -0.07ポイント	↓ -0.04ポイント	↓ -0.06ポイント
沖縄	↓ -0.08ポイント	→ 0.00ポイント	↓ -0.05ポイント



資料：厚生労働省「職業安定業務統計」

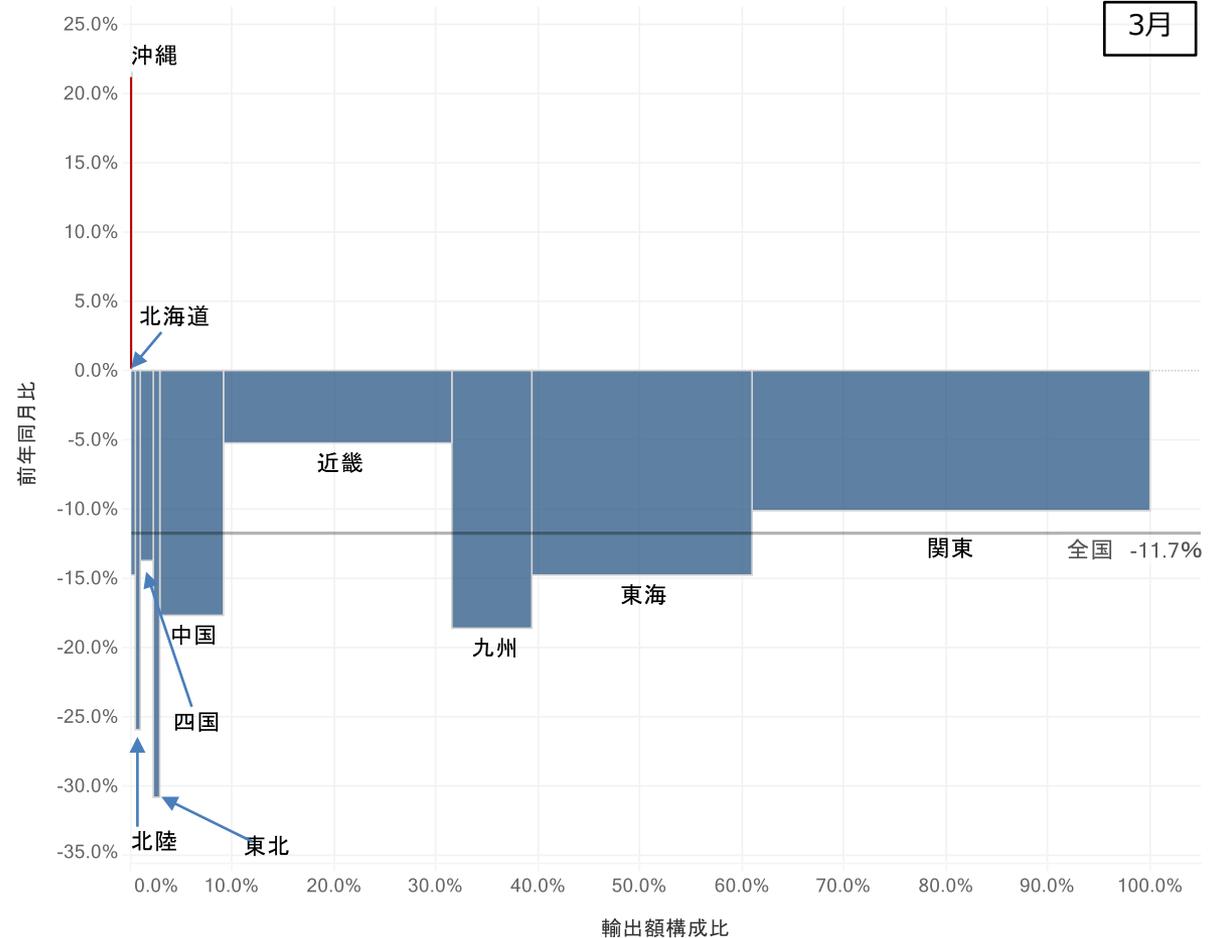
左図：直近3ヶ月の状況。前月と比較し、指標が上昇している場合は赤色、変化なしの場合は黄色、低下している場合は青色で表示。

右図：3月の数値を棒グラフで表示。前月差の大きい順に並んでいます。

# 輸出額（前年同月比）

● 1地域（輸出額構成比0.02%）で増加し、9地域（同99.98%）で減少。

地域	1月	2月	3月
全国	↓ -2.6%	↓ -1.0%	↓ -11.7%
北海道	↓ -25.7%	↓ -8.7%	↓ -14.8%
東北	↓ -0.5%	↑ 2.6%	↓ -30.8%
関東	↓ 0.0%	↑ 2.3%	↓ -10.1%
東海	↓ -5.9%	↓ -9.1%	↓ -14.8%
北陸	↓ -19.1%	↓ -0.8%	↓ -25.9%
近畿	↓ -3.6%	↑ 0.8%	↓ -5.2%
中国	↓ -4.6%	↓ -3.2%	↓ -17.6%
四国	↓ -10.6%	↑ 24.5%	↓ -13.7%
九州	↑ 3.2%	↑ 1.4%	↓ -18.6%
沖縄	↓ -5.6%	↓ -57.7%	↑ 21.6%



資料：財務省「貿易統計」 地域ごとの輸出額は、各税関の貿易統計より、各地域に属する港の輸出額を合計して算出。

全国及びすべての地域（1～2月）、全国（3月）は確報値。

左図：直近3ヶ月の状況。前年同月と比較し、指標が上昇している場合は赤色、低下している場合は青色で表示。

右図：3月の数値をスカイラインチャートで表示。伸び率寄与順に並んでいます。

表紙に記載した経済産業局の管轄区域と異なる地域区分を採用し、福井県を北陸地域のみ上に計上しています。

各地域の輸出額構成比は以下のとおり。

北海道：0.4% 東北：0.7% 関東：39.0% 東海：21.5% 北陸：0.6% 近畿：22.4% 中国：6.2% 四国：1.3% 九州：8.0% 沖縄：0.02%

3月